

コラム 今年はガリレオ

編集委員長 作花一志



ガリレオ・ガリレイ（1564－1642）は、シェークスピアや加藤清正と同世代です。当時イタリア半島では小国乱立の時代で、彼の活動の場はトスカーナ大公国のピサやフィレンツェでした。

7歳年下のケプラーとはよく文通して、地動説を理解し合っていたようです。ガリレオの弟子にはトリチェリやヴィヴィアーニがいます（表紙の言葉参照）。

ガリレオはどんな発見をしたのか、どんな天文教育をしたのか、なぜ宗教裁判にかけられたのか、私たちは彼から何を学ぶべきかなどについて、今後会誌上で詳しく述べられるでしょう。

1564	ガリレオ生まれる
1589	ピサ大学数学講師に就任
1609	望遠鏡観測を始める ヴェネチア元老院で望遠鏡披露
1610	木星の4衛星を発見 『星界の報告』を出版
1616	第1次宗教裁判
1632	『天文対話』を出版
1633	第2次宗教裁判 有罪判決
1638	『新科学対話』オランダより出版される
1642	ガリレオ死す
1737	葬儀埋葬
1992	ローマ法王庁、裁判の誤りを認めガリレオに謝罪

この年表作成については小野夏子さん秋山晋一さん他 TenkyoMLより引用させていただきました。またイラストは西岡季美さん（株式会社ウェーブ）より提供されました。